

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	－	－	－
	○	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・外商売上が店頭売上の落ち込みをカバーし、最終的に前年同月をやや上回った。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス第6波による巣籠り消費需要増大の恩恵を受けている。
	○	スーパー（企画担当）	単価の動き	・食品の価格上昇の動きが激しくなり、値上げ前の特売セールが売上を引き上げている。
	○	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用の影響で、大型ショッピングモールから地元スーパーへ客足が戻っている。
	○	コンビニ（総務）	来客数の動き	・前月から引き続き、前年比で来客数が若干増加している。
	○	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・依然、新型コロナウイルス感染症は拡大しているが、天候に恵まれたこともあって今月の売上は順調に増加している。
	○	乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・月初めは新春イベントがあり、新型コロナウイルス新規感染者数も少なく、来客数、販売量は多かった。
	○	通信会社（営業部長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で来客数は減っているものの、販売量は落ちていない。
	○	競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により警戒意識が高まり、公営娯楽の人出は減少している。しかし、遊行意識は強く、ネットや電話等による販売が良好に推移し、やや良くなっている。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が発表された途端、全く人が動かなくなった。
	□	商店街（代表者）	競争相手の様子	・駅前にあった大型店の閉店により中心市街地の将来展望が全く見通せない状況にあり、行政側にも期待が持てない。そうしたなか、駅ビルに入居していた店舗や新規開店者が、家賃の安い地元商店街に出店するケースが複数出ている。
	□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・1月前半までは売上好調であったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により来客数が減少し、売上也激減した。
	□	家電量販店（店員）	販売量の動き	・半導体不足等の影響もあって入荷未定商品が出始め、それらの販売が落ち込んでいる。
	□	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大とまん延防止等重点措置の適用で、ここ数日、キャンセルが多く発生している。
	□	観光遊園地（職員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響が大きい。
	□	設計事務所（所長）	販売量の動き	・変化は特にない。
	▲	商店街（事務局長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の急増とまん延防止等重点措置の適用に伴い、多くの人が外出や外食を控えている。物販店や飲食店、サービス、観光関連など幅広い業種で売上が大きく減少している。少なくともあと1か月ほどはダメージが続くと思われる。
	▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス新規感染者数が増えたため来客数が大幅に減り、インターネットや電話の注文が増えた。余分な買物がなくなって購入単価が下がっている。また、繁華街の飲食店が休業し始め、人通りはほとんどない。
	▲	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・1月中旬以降、新型コロナウイルス新規感染者数急増に伴い、繁華街の人出が激減しているため、飲食店への納品が激減した。
▲	百貨店（営業管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加や連日の報道の影響から、前年比プラスで推移していた来客数が徐々に低下し、マイナスになりつつある。	
▲	百貨店（販売促進）	来客数の動き	・当県では新型コロナウイルスの新規感染者数が爆発的に増加しており、まん延防止等重点措置が適用されていないにもかかわらず来客数が減少している。必要な物だけ目的買いしていると見受けられる。	
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・年初は順調に推移していたが、現在は売上が減少に転じつつある。来客数の減少が目立つ。	

	▲	家電量販店（副店長）	販売量の動き	・客単価は前年を上回って推移しているものの、来客数が減っている。購入目的のある客しか来店しない傾向が見受けられる。
	▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、新車の納車台数が再び減少している。
	▲	乗用車販売店（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大並びに半導体不足に伴うメーカーの減産により、供給不足に陥っている。
	▲	その他専門店 [酒]（経営者）	来客数の動き	・寒さと新型コロナウイルスオミクロン株の影響から、売上が減少している。
	▲	その他小売 [ショッピングセンター]（副支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に伴い、増えつつあった来客数に急ブレーキが掛かった。特に、夜間帯の減少が著しい。
	▲	その他飲食 [ファーストフード]（経営者）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が適用されたことにより、人流が抑制され動きが悪くなっている。
	▲	通信会社（社員）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の適用で外出のハードルが高くなり、経済活動が鈍化している。
	▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数増加で、客足が遠のいている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・年末年始は景気回復の兆しがみえていたものの、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により来街来客数が激減し、大変厳しい状況にある。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、夜の客の動きが一段と悪化している。不要不急の外出となってしまう部分もあるレジャー産業にとっては、非常に厳しい状況にある。
	×	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・来客数が激減している。
	×	スーパー（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大により、来店頻度が落ち、来客数が大幅に減少している。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数急拡大に伴い、通勤途中での来店が急激に減少している。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が1日も早く収まるか、共存することを受け入れるしかない。
	×	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が広く適用され、マーケットが消失している状態。ワクチンや検査パッケージに代わる今後のGo To Travelキャンペーンの開始基準が示されず、今後の予想が全く立たない。
	×	都市型ホテル（経営者）	お客様の様子	・予約が大きく減少している。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、人の移動が以前の3分の1以下になっている。乗客からも極力外出や移動を避けているという話を聞く。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用され、夜の街への来客は減少している。前年ほどではないが、時短要請の影響でタクシーの仕事も激減している。遍路客からのキャンセルも相次いでいる。
企業 動向 関連 (四国)	◎	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当地域としては、昨秋以降回復基調であったものの、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により再び厳しくなっている。当社においては前年10月以降、小売店からの受注が増加しており、新型コロナウイルス発生前の水準を上回っている。その要因には、ネット販売の活況や新製品の売上増加、地方小売店の受注回復等がある。加えて、市況の悪化による新規取引先からの問合せが増えており、全売上高の数%は新規受注による。
	○	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・受注量が回復している。ただ、ウッドショック、コンテナ不足の影響を受けて現場工事の進捗が遅れており、売上は見込みよりダウンしている。
	○	税理士事務所	取引先の様子	・取引先の月ごとの売上が上昇している。
	□	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・各国政府の経済対策により景気は回復基調であるものの、地域的なばらつきが大きく、総じて本格的な回復には至っていない。

	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、仕事関係者に何らかの影響が及んでいる。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・思うようには受注が伸びず、苦しい状況にある。
	□	通信業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、社外との会議等が見送りになるなど、今後の見通しは難しい状況である。
	▲	農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・12月の卸売価格は、例年の水準には届かなかったものの業務需要が一定程度回復したこともあって、業務用野菜等が安値となった前々年よりも高値で推移するなど、まずまずの価格で販売できた。しかし、1月は新型コロナウイルスの感染再拡大から業務需要が鈍化し、感染爆発した下旬には一段と厳しい価格となっている。
	▲	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、社内に感染者はいないが、保育園や学校等の休校により出社できない者が増加し、稼働人員減少により生産量や出荷量が減少している。
	▲	建設業（経営者）	競争相手の様子	・本業の受注量は例年並みで、順調に消化できている。落ち着いていた新型コロナウイルス感染が年始から急速に拡大し、第6波となった。対外的な業界活動や研修、親睦会等が中止又は延期になり、閉塞感が強まっている。感染拡大のたびに企業や個人で金の内部留保が増え続けており、市中には流動していないと思う。
	▲	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・1月に入り、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大によりまん延防止等重点措置が適用されたことを受け、四国を発着する一般消費財を中心とした商業貨物において取扱物量が著しく減少する傾向にあり、消費の低迷を強く感じる。
	▲	輸送業（経理）	受注価格や販売価格の動き	・これまで海外の輸出数量が増加していたが、海上コンテナ不足の影響で荷動きが鈍化している。また、国内の出荷量も減少傾向が続く。
	▲	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大で、客先数社が販売促進広告を急ぎょ中止した。
	×	輸送業（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスオミクロン株に振り回されている。
	×	金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先の試算表並びに経営者等のヒアリングから、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて消費者動向は再び鈍化し、売上や利益の減少等の影響を受けている。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルス特需により、求人数が一時的に増加傾向にある。
	○	職業安定所（求人開発）	求人数の動き	・前月と同じく、新規求人数や有効求人倍率、新規求職申込件数が増加している。
	□	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大のピークアウトの見込みは立たず、公共施設利用や買物、飲み会、会食は自粛ムードが日々増している。公共交通機関の利用も少ない。ただ、経済を止めないようネット販売を推進するなど、消費者ニーズを高める企業努力がうかがえる。
	□	民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・求人数に余り変化はみられない。
	▲	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・飲食業や観光業界だけでなく、2～3月に予定していたイベント関連の中止に伴う関連事業者の打撃は大きく、景気は悪化している。求人面からみると新規求人数は減少傾向にあり、各事業者とも先行き不透明感からコストを伴う採用を控える傾向が見受けられる。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大により、戻り始めた経済活動に改めてストップが掛かった。イベントなどが軒並み中止・延期になり、今期の売上に影響が出るだろう。
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・内定状況は前年度と大きく変わらないが、まだ未内定の学生もいる。新型コロナウイルス新規感染者数の急拡大で、未内定の学生の就職活動が懸念される。

	×	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・派遣依頼の数が減っており、景気は厳しくなっている。
--	---	------------------	--------	----------------------------